

## 選評

第33回新聞広告賞は、広告主部門に366件、新聞社企画部門に68件の応募をいただきました。広告委員会は、広告主企業の皆さまに応募していただきやすくなるとの観点から賞の部門構成を見直し、今年度は、広告主が発信するメッセージを展開した広告は「広告主部門」、新聞社発信のものは「新聞社企画部門」として実施しました。応募にご協力いただいたご関係の方々に厚くお礼申し上げます。

応募作品の選考は6月から7月にかけて3次にわたって行い、7月26日の選考委員会（広告委員会）で新聞広告大賞をサントリーホールディングスの「サントリー金麦 ご当地季節情緒企画」に贈ることを決めました。また、新聞広告賞に両部門から各5作品を選定したほか、広告主部門優秀賞10作品、新聞社企画部門奨励賞5作品を選びました。大賞をはじめとする各賞は9月4日の理事会で正式に授賞を決定いたしました。

新聞広告賞は、評価プロセスの客観性、透明性、審査の公平性を担保するため、新聞社外から審査委員を招へいしています。今回は選考委員会に先立って開催された選考分科会に、アートディレクターの中島祥文氏とコピーライター・クリエイティブディレクターの一倉宏氏に選考に加わっていただきました。

新聞広告大賞に選ばれたサントリーホールディングスの作品は、全国のブロック紙、地方紙を横断して展開し、新聞の地域密着力と記事体広告の伝達力を存分に生かして、各地の季節情緒や食と商品との相性を地元感たっぷりに読者に伝えました。選考会場には、こうした新聞広告ならではの特性を駆使した作品が並び、審査委員の目を楽しませました。全体的に日本を元気にしようというメッセージが強く感じられたのも特徴的でした。

今回入賞した作品は、いずれも新聞広告の新しい利用法や新聞広告本来の力を感じさせるものです。

ご応募いただきました広告主の皆さまと関係各位にあらためて感謝いたしますとともに、今回の授賞が各社の社業および新聞広告の発展の一助となれば幸いです。今後とも新聞広告に一層のご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2013年10月18日

第33回新聞広告賞選考委員会

一般社団法人日本新聞協会 広告委員会

委員長 手塚泰彦

勢いのある広告には、  
迫るような意志がある。

広告にはポジティブな力がある。まだまだ大震災からの復興にはほど遠い状況の中で、今年も社会に元気を与える広告がいくつか見られたのは、そのポジティブな力学が働いたからだろうか。

今年の広告主部門の大賞には、サントリーホールディングスの「金麦」が選ばれた。ブロック・地方新聞社の協力による花見の紹介、そして花火大会や35紙の料理シリーズの展開などは、日本人を心底楽しくさせるものがある。

広告主部門の本賞は、5作品が受賞。味の素は、最初の離乳食を最後の晩餐さんのパロディーで表現。赤ちゃんの味ごとの表情がたまらなくかわいい。東京エレクトロンは、見開き広告と小型広告の組み合わせによる元素周期表をつくらせることで、難しい素材を身近にしている。東芝は、ルーブル美術館と中尊寺金色堂をLED照明で照らした連作で、その荘厳な美しさを再認識させた。トヨタマーケティングジャパンは、変革の象徴としてピンクの新型クラウンを用い、チャレンジングな発想で企業姿勢を見せた。広島東洋カープは、優勝実写化への道を漫画特有の躍動感で伝え、ファンの心をかきたてたに違いない。

新聞社企画部門では、5作品が本賞を受賞した。河北新報社は、復興に向けて支援する人とされる人の様子を伝え、「今できること」の可能性を提示。中日新聞社は、読者と医療の現場をつなぐ情報発信の場を提供し、大きな社会的役割を果たした。新潟日報社は、新潟が輩出した漫画家たちが描き下ろしで地元の魅力を伝え、元気づける紙面となっている。神戸新聞社は、兵庫県の食や文化、歴史、工芸などをデザインという独自の視点で捉えたところが新鮮だ。西日本新聞社は、2010年から現在も続く飲酒運転撲滅キャンペーンで、様々なアプローチにより着実な効果を上げている。

勢いのある広告には、迫るような意志がある。その意志は伝える力を強靱じんにし、読む人をポジティブにする。



なかしましろうぶん  
**中島祥文氏**

アートディレクター  
株式会社ウエーブ クリエーション  
代表取締役  
多摩美術大学名誉教授

1944年愛知県生まれ。多摩美術大学卒。  
J.W.トンプソンなどを経て、81年ウエーブ クリエーションを設立。  
東京アートディレクターズクラブ会員(02～04年審査委員長)、朝日新聞社広告賞審査員(92年から)、日本経済新聞社広告賞審査員(97年～)、読売新聞社広告賞審査員(96～99年)を務める。  
東京ADC会員最高賞、日本宣伝賞山名賞ほか多数受賞。  
著書に『考えるデザイン』(09年・美術出版社)。



いちくら ひろし  
**一倉 宏氏**

コピーライター  
クリエイティブディレクター

1955年生まれ。  
サントリー宣伝部にコピーライターとして勤務。1990年より独立し、一倉広告制作所を設立。  
代表作に、モルツ「うまいんだな、これがっ」、パナソニック「きれいなおねえさんは好きですか」、ソニーウォークマン「哲学するサル」編、NTTデータ「ホーキング博士」編他、ファミリーマート「あなたとコンビに」、JR東日本「MY FIRST AOMORI」などがある。  
東京コピーライタースクラブ副会長。

新聞とはそれ自体が「街」あるいは「都会」のような存在だと思う。政治や行政がその中心にある。つづいて経済や産業の話題も多い。スポーツもあれば娯楽もある。住民の暮らし、季節の話題。そして、事故や犯罪も起きている（ことを伝える）。といった具合に。

この「街」のなかで「営業活動」しているのが、新聞広告ということになるだろう。都会のなかの商店街にもたえられるだろうか。商店街は都市の活気だ。商店街に魅力のある都市は素敵だ。そこを歩くだけでも楽しい街づくり。新聞の広告局はそういう役割を担っている。そして、私たち制作者も担っている。

東京一極集中になりがちな広告クリエイティブ界の審査とは、本審査はかなり雰囲気を変えていた。まるで日本全国の「街」をめぐり歩いたようで新鮮だった。新聞というメディアの伝統と特質、地域と日常生活に密着した底力のようなものを再認識させられた。

広告主部門の大賞となった「サントリー金麦ご当地季節情緒企画」は、そのような意味でもこの賞にふさわしいだろう。桜の名所をめぐる春、花火大会の夏の企画は特に各紙各地の特色と連動して楽しく、また広告効果も計算されている。本賞5作品の多くは大スペースを生かした迫力あるもの。ブランド力を見せつける。商店街にはやはりこういう有名ブランドもあってほしい。優秀賞10作品にはアイデアに富んだキャンペーン型が多かった。

新聞社企画部門は、まさに個性豊かな「街づくり」を見るようだった。紙面の上にその「街の匂い」を感じる。それはたとえば神戸の「デザイン」や西日本の「飲酒運転撲滅」などすべての作品にいえることだが、なかでも河北の質実なプロジェクト、東奥のヒューマニズムあふれる表情が強く印象に残っている。

まるで日本全国の「街」をめぐり歩いたようで新鮮だった。

# 応募状況・選考経過

## 応募・推薦状況

2012年6月1日から2013年5月31日までに、新聞協会会員新聞に掲載された広告活動を対象に、広告主企業、広告会社、新聞社に応募・推薦を呼びかけた結果、6月4日までの受付期間に、広告主部門に366作品（単独広告主357作品、複数広告主9作

品）、新聞社企画部門に68作品（単独企画63作品、共同企画5作品）の応募・推薦があった。応募作品数のうち新聞社企画部門は応募件数枠をこれまで1発行本社1作品としていたところを、今年から1社2作品に広げた。

## 選考経過

新聞協会会長の任命する委員をもって新聞広告賞選考委員会（＝広告委員会）が組織され、下記のとおり応募・推薦作品の審査・選考を行った。

### 1. 新聞広告賞予備選考会＝6月13日～26日

選考委員会は、広告委員会の下部組織である広告プロモーション部会に予備選考を委嘱した。新聞広告賞予備選考会は、広告主部門、新聞社企画部門の両部門に応募・推薦のあった全広告活動を対象に審査した。

#### (1) 第1次予備選考会＝6月13、14、17、18日

広告主部門の全作品のなかから、広告プロモーション部会の各委員がそれぞれ20作品を推薦し、総計90作品を第2次予備選考会の審査対象とすることにした。また、新聞社企画部門の全作品について新聞社企画部門の審査基準に従い、自社作品を除く全作品を採点した。

#### (2) 第2次予備選考会＝6月25、26日

選考に先立って座長に森末知成・広告プロモーション部会長（読売東京）を互選、審査・選考にあたっては、新聞広告賞制定の趣旨から、企画性、広告活動の成果など新聞広告活動の全過程を対象に評価することを確認した。

25日は新聞社企画部門の選考を行い、第1次予備選考会の採点結果をもとに議論を尽くし、21作品を選考分科会上申することを決めた。

26日は、広告主部門の第1次予備選考会を通過した作品を対象に選考を行った。展示された広告紙面と応募申込書の記載事項に基づいて審議・投票を重ねた結果、44作品を選考分科会上申することを決めた。

### 2. 新聞広告賞選考分科会＝7月25日

広告委員会常任委員およびアートディレクターの中島祥文氏、コピーライター、クリエイティブ・ディレクターの一倉宏氏で構成された選考分科会で、新聞広告賞予備選考会から上申された候補作品を審査・選考した。

選考に先立ち座長に中村史郎・広告委員会副委員長（朝日東京）を互選、森末・広告プロモーション部会長が、応募総数・応募作品の傾向、予備選考会経過、上申作品の推薦理由を報告した。

新聞社企画部門については、予備選考会から上申された21作品を閲覧のうえ、30点満点で採点して、5作品を新聞広告賞授賞候補、5作品を奨励賞授賞候補とした。なお、自社作品には投票権を認めなかった。広告主部門については、44作品を対象に作品閲覧のうえ連記式の投票により入賞16作品を選び、順位に従って1社1作品を新聞広告大賞授賞候補、5作品を新聞広告賞授賞候補、そのほか10作品を優秀賞授賞候補に決定した。以上、計26作品を新聞広告賞選考委員会に上申することにした。

### 3. 新聞広告賞選考委員会＝7月26日

7月度広告委員会が最終の選考委員会となり、中村・選考分科会座長が選考経過について報告した。広告委員会は選考分科会からの上申を最終選考結果とし、9月度理事会の承認を得ることとした。

### 4. 理事会＝9月4日

新聞協会理事会は、新聞広告賞選考委員会からの選考結果と選考経過に関する上申を承認した。



# 第33回新聞広告賞選考委員会委員名簿

朝日新聞東京本社 広告局長 中村 史郎	日本経済新聞大阪本社 クロスメディア大阪営業局長 坂村 道生	神奈川新聞社 クロスメディア営業局長 須藤 浩之	中国新聞社 執行役員広告局長 石川 哲夫
毎日新聞東京本社 広告局長 手塚 泰彦	産経新聞大阪本社 執行役員営業局長 松本 肇	千葉日報社 理事広告局長 鎗田 光明	山陰中央新報社 取締役営業局長 仲田 武史
読売新聞東京本社 執行役員広告局長 松田 陽三	北海道新聞社 取締役広告局長 木村 博史	山梨日日新聞社 広告局長 西川 新	山口新聞社 取締役山口新聞本部副部長 宮本 邦彦
日本経済新聞社 執行役員クロスメディア営業局長 富田 賢	十勝毎日新聞社 執行役員広告局長 和田 郁夫	静岡新聞社 取締役営業局長 村松 重治	徳島新聞社 営業局長 前林 勲
東京新聞 広告局長 吉川 克也	東奥日報社 営業局長 蝦名 克律	信濃毎日新聞社 役員待遇広告局長 石田 一西	四国新聞社 執行役員広告局長 泉川 誉夫
産経新聞東京本社 営業局長 廣瀬 千秋	デーリー東北新聞社 広告局長兼仙台支社長 三浦 晃造	中日新聞社 取締役広告局長 井戸 義郎	愛媛新聞社 取締役営業局長 今井 俊朗
ジャパンタイムズ クロスメディア営業部長 沼田 雄介	岩手日報社 取締役広告局長 吉田 誠一	岐阜新聞社 役員待遇広告局長 野村 克之	高知新聞社 取締役広告局長 岡村 亨
報知新聞社 ビジネス推進局長 石尾 伸	河北新報社 取締役広告担当 中山 晴久	新潟日報社 専務取締役営業統括本部長兼広告事業本部長 小田 敏三	西日本新聞社 執行役員広告局長 山下 利一郎
日刊工業新聞社 執行役員業務局長 松本 亮一	秋田魁新報社 取締役営業局長兼営業本部副部長 小林 敦	北日本新聞社 執行役員営業局長 白田 嘉久	佐賀新聞社 執行役員営業局長 宮崎 俊一
日刊スポーツ新聞社 広告事業局長 山田 健一	山形新聞社 広告局長 本田 孝三	北國新聞社 取締役営業本部長兼営業局長 砂塚 隆広	長崎新聞社 取締役営業局長 山田 昌弘
日本工業新聞社 取締役営業・事業本部長 篠原 令広	福島民報社 常務取締役広告局長 矢森 真人	福井新聞社 営業局長 伊藤 嘉伸	熊本日日新聞社 取締役広告局長 松永 幹夫
スポーツニッポン新聞社 取締役広告担当 矢野 康彦	福島民友新聞社 常務取締役営業統括本部長兼広告局長 渡辺 昌俊	伊勢新聞社 代表取締役社長兼営業局長 小林 千三	大分合同新聞社 営業局長 児玉 真路
日本農業新聞 広報局長 猪又 修	茨城新聞社 取締役営業局長 桜井 由紀夫	京都新聞社 京都新聞COM営業戦略推進室長 白石 真古人	宮崎日日新聞社 取締役広告局長 岡本 哲
朝日新聞大阪本社 広告局長 山下 博嗣	下野新聞社 営業局長 関根 文夫	神戸新聞社 執行役員営業局長 皆川 広一	南日本新聞社 営業局長 山元 良久
毎日新聞大阪本社 広告局長 大村 勝	上毛新聞社 常務取締役営業・事業担当営業局長 樋田 康行	奈良新聞社 取締役企画推進部長 上田 達雄	沖縄タイムス社 執行役員広告局長 比嘉 弘
読売新聞大阪本社 取締役広告局長 伊藤 隆範	埼玉新聞社 取締役クロスメディア局長 宮下 達也	山陽新聞社 取締役営業局長 白髭 研介	琉球新報社 取締役広告局長 糸数 淳

以上 64 社 64 人 (2013 年 7 月現在、会員社名簿順、敬称略)

# 新聞広告大賞受賞告知広告

全 15 段

## 第33回新聞広告賞 新聞広告大賞受賞作品

「サントリー金麦 ご当地季節情緒企画」

### 〈花火大会シリーズ〉



### 〈朝霞シリーズ〉



### 〈花見シリーズ〉



### 〈初夏(郷土料理)シリーズ〉



日本新聞協会はこれほど、第33回新聞広告賞の新聞広告大賞を、サントリーホールディングス株式会社の「サントリー金麦 ご当地季節情緒企画」に贈ることを決定しました。

「日本各地の季節情緒を金麦とともに楽しむ」をコンセプトに、全国のプロダクツ、地方紙を横断して地域連携型のキャンペーンを展開した広告企画です。産の名産、花火大会、郷土料理など各地の風物詩を記事体広告で紹介しながら、季節とともに楽しむ金麦の世界観を各地域において訴求する手法は、全国ブランドを当地の人々の生活に浸透させる力を有しており、新聞を使った優れたエリアマーケティングの実践として、高く評価されました。

1981年に創設された新聞広告賞は「新聞広告活動の金通程」を対象に選考する日本ただ一つの表彰制度です。新聞広告の新しい利用法や表現領域の開拓に成功した活動、新聞広告を通じて広告目的にあった大きな成果をあげた活動、新聞媒体の特性・機能を活用し、新聞と広告の発展に対し大きな貢献をした広告活動一を基準に選考しました。

応募総数は434作品で、日本新聞協会広告委員会（全国の新聞社64社の広告責任者で構成）および外部審査委員2氏による厳正な審査の結果、大賞ほか右記の作品を新聞広告賞に決定しました。

◆受賞作品は、日本新聞協会の新聞広告賞サイト「新聞広告データベース」(www.pressnet.or.jp/adarc) でご覧いただけます。

### ◆広告主部門

#### 新聞広告大賞

●サントリーホールディングス株式会社 サントリー金麦 ご当地季節情緒企画

#### 新聞広告賞

- 味の素株式会社 味の素Kk 企業広告キャンペーン「最初の晩飯。」
- 東京エレクトロン株式会社 充電器発表会、つくろう
- 株式会社東芝 東芝のLEDが照らす世界遺産
- 株式会社ヨコヤママーケティングジャパン ReBORN CROWN
- 株式会社広島東洋カープ 2013シーズン キャンプイン広告/2013年秋、優勝実用化へ。

#### 優秀賞

- 株式会社NTTドコモ 「応援学新」トモモトシリーズ」ご当地学生応援企画
- 鹿島建設株式会社 東京駅丸の内駅舎 保存・復原工事
- 株式会社夏文五年堂 夏文五年堂「一流は一流を知る」シリーズ
- 株式会社集英社 SPUR2013年2月号「SPURxJOJO」8点シリーズ
- 東日本旅客鉄道株式会社 新日本の風景
- 株式会社安島社 企業広告「ヒトは、本を讀まねばサルである。」
- 公益社団法人東京都医師会 東日本大震災から2年 復興へのメッセージ
- パソナビジュアル株式会社 「宇宙戦艦ヤマト2199」プロモーション
- パソナソニック株式会社 顧客カウンタ「一獲千両」新聞広告
- ホレン農業協同組合連合会 北海道は、日本のご近所です。

### ◆新聞社企画部門

#### 新聞広告賞

- 河北新報社 営業本部 今できることプロジェクト
- 中日新聞社 広告部 LINKED
- 新潟日報社 広告事業本部 湯浅家が描くふるさと新潟 新潟マンガ王国
- 神戸新聞社 営業部 神戸新聞+Design
- 西日本新聞社 広告局 飲酒運転撲滅プロジェクト「TEAM ZERO FUKUOKA」

#### 奨励賞

- 中日新聞東京本社 広告局 東京ごども新聞 powered by 東京AR
- 東奥日報社 営業局 第61回日本広告連盟青森県大会開催記念特集「この国の未来・鶴山記憶」
- 京都新聞社 京都新聞COM営業局 「日本人の忘れもの」キャンペーン 第2弾
- 神戸新聞社 営業部、神戸新聞地域総研 みんなが生徒 山ほど楽しい賞つきの場〜「六甲山大学プロジェクト」
- 岩手日報社 広告局/河北新報社 営業本部/福島民報社 広告局 スマイルとうほくプロジェクト

## 一般社団法人 日本新聞協会

〒100-8543 東京都千代田区千代田 2-2-1 日本プレスセンタービル  
電話 03-3591-4407 <http://www.pressnet.or.jp>

新聞広告大賞受賞作品については、全 15 段ならびに全 5 段の受賞告知広告を 10 月 15 日から 12 月末日までの間、新聞協会会員各紙において随時掲載する。